

施策評価シート

施策等名称	安全・安心の確保	体系番号	0601010201
		主管課	管理課

1 施策基本情報

現状と課題	現在保有する公共施設等の保有量を保有し続けるためには、公共施設だけでも現在の投資的経費の約2倍、インフラ施設についても現在の約3倍の費用が必要となります。 一方で、人口減少による生産年齢人口の減少に伴い、市税収入が減少し、現在の投資的経費の維持も困難になることが想定されます。 保有しているすべての公共施設等を保有し続けることは、難しい状況にあります。
めざす将来像 (あるべき姿、基本的な考え方)	公共施設等の不具合箇所を早期に発見し、早期に対応することで、施設の安全・安心を確保します。道路や上下水道などのインフラ施設は、行政だけでなく関係機関等からの情報提供により、支障箇所等の早期発見に努めます。

施策指標	指標名称	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値
				2027年度目標値
①	定期点検周知回数	施設の日常的な定期点検に関する職員への周知回数(回/年)	1.00	1.00
②				1.00
③				

施策の柱 1	名称	安全・安心の確保		主管課	管理課		
	詳細	公共施設等の不具合箇所を早期に発見し、早期に対応することで、施設の安全・安心を確保します。道路や上下水道などのインフラ施設は、行政だけでなく関係機関等からの情報提供により、支障箇所等の早期発見に努めます。					
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分	
	1	定期点検周知回数	施設の日常的な定期点検に関する職員への周知回数(回/年)	1.00	1.00 1.00	1 公共施設等総合管理計画推進事業	実施
	2				2		
	3				3 4 5 6		

基本政策間連携

施策の体系	名称			主管課		
	詳細					
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分
	1				1	
	2				2	
	3				3 4 5 6	

基本政策間連携

施策の柱 3	名称			主管課		
	詳細					
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分
	1				1	
	2				2	
	3				3 4 5 6	

基本政策間連携

施策等名称	安全・安心の確保	体系番号	0601010201
		主管課	管理課

## 2 指標等の推移と変動要因

体系区分	成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
指標No.		中間目標値	実績値 / 達成率(実績値÷目標値)				
施策	定期点検周知回数	1.00	1.00	1.00			
		1	1.00	100.00	100.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	各公共施設を所管する担当者を対象とした研修会を開催し周知しました。					
	2019年度	各公共施設を所管する担当者を対象に、庁内グループウェアを活用して周知しました。					
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
柱1	定期点検周知回数	1.00	1.00	1.00			
1		1.00	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	各公共施設を所管する担当者を対象とした研修会を開催し周知しました。					
	2019年度	各公共施設を所管する担当者を対象に、庁内グループウェアを活用して周知しました。					
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
変動要因等	2018年度						
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
変動要因等	2018年度						
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
変動要因等	2018年度						
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
変動要因等	2018年度						
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						

施策等名称	安全・安心の確保	体系番号	0601010201	
		主管課	管理課	

3 評価・改革改善

(単位:円)

項目		2018年 (前年度比)		2019年 (前年度比)		2020年 (前年度比)		2021年 (前年度比)		2022年 (前年度比)		
投資額	事業費(円)	2,787,591		1,441,003	0.52	2,350,000	1.63					
	うち一財(円)	2,787,591		1,441,003	0.52	2,350,000	1.63					
	増減理由 (一般財源 前年度比 ±10%以上 の場合に 記載)			2018年度に、保温材の 石綿定性分析調査を行 い、調査が一段落したこ とが要因です。								
進捗評価		おおむね順調		おおむね順調								
総合評価	主な取組内容や成果	各公共施設を所管する 担当者を対象とした研修 会を開催し、点検のポイ ントなど周知を図りまし た。その後、担当者が点 検を実施しました。結果 は管理課で集約し、必要 に応じて、補修工事等の 実施を促しました。		各公共施設を所管する 担当者を対象に、グルー プウェアを活用して、点 検のポイントなど周知 し、点検を実施しました。 工事の際に設置された 足場を利用し、工事箇所 以外の場所の点検を行 いました。								
	課題	各公共施設を所管する 担当者による点検では 見落とされてしまう不具 合があることから、専門 的な知識を持った人によ る点検の実施も必要と 考えます。 屋根や外壁など、高所 の不具合の把握が困難 な施設があります。		足場等を設置しなければ、 目視が困難な屋根 や外壁の状態につい て、ドローンによる確認 ができればと考えていま す。 施設を継続的に使用す るため、また工事費の平 準化を図るため、設備機 器の状態を一元管理す る必要があります。								
改革・改善	改革・改善内容	専門的な知識を持った 人による点検の実施に ついて、建築系職員の 体制づくりや特殊建築物 の点検を総合的に活用 し不具合を把握していく ことを検討します。		ドローンを活用した屋根 や外壁の点検の可否を 確認します。 設備機器の調査を進め ます。								
	施策の柱等の重点化	重点化する 施策の柱	1		1							
		重点 事務事業	1		1							
	理由	施設の老朽化に伴い、 外壁のモルタル片の落 下や屋根材の剥落、腐 食の進んだ手摺の破損 などにより、安全性に問 題がある施設も全国的 にみられることから、定 期的に点検を行い安全 を確保する必要があります。		施設の老朽化に伴い、 外壁のモルタル片の落 下や屋根材の剥落、腐 食の進んだ手摺の破損 などにより、安全性に問 題がある施設も全国的 にみられることから、定 期的に点検を行い安全 を確保する必要があります。								

作成担当者	東城真平	東城真平			
最終評価責任者	伊藤弘通	伊藤弘通			
最終評価年月日	2019年5月31日	2020年7月10日			